

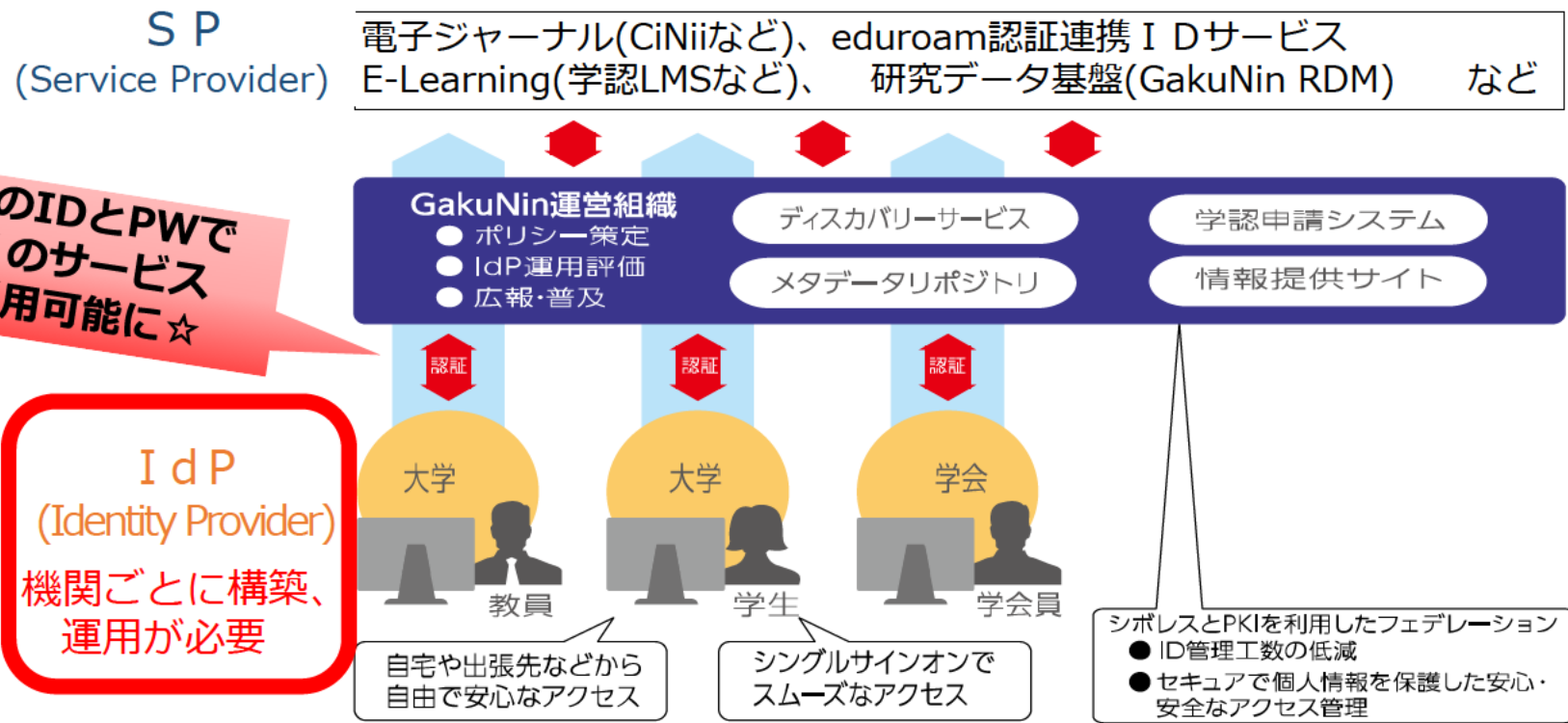
# 学認対応IdPホスティングサービス ～実証実験経過報告～

清水 さや子

国立情報学研究所

# 背景 1

- 学術認証フェデレーション [学認] とは、所属機関が発行するアカウントを用いて、学外の情報リソースにアクセスするための認証連携のフレームワーク



一組のIDとPWで多くのサービスが利用可能に☆



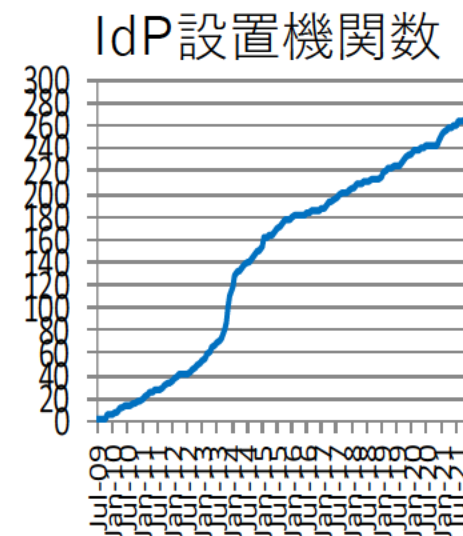
# 背景 2

- 現在、学認の参加機関は、 289機関 (2023.5.1時点)
- 未参加機関の理由：

- A) 人力的な問題 (運用する人材、参加検討する人材の不足) (58件)
  - B) 技術的な問題 (サーバの構築や運用ができないなど) (23件)
  - C) 金銭的な問題 (20件)
  - D) 必要かどうかわからない (11件)
  - E) 委託業者が分からない (9件)
  - F) 現在は不要である (5件) などなど
- ➡ IdPサーバの構築、運用がネックになっている場合が多い

(件数は、2022年10月のアンケート結果 (複数回答可)、対象72機関より)  
 参考URL <https://www.gakunin.jp/document/684>

アンケートにご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。



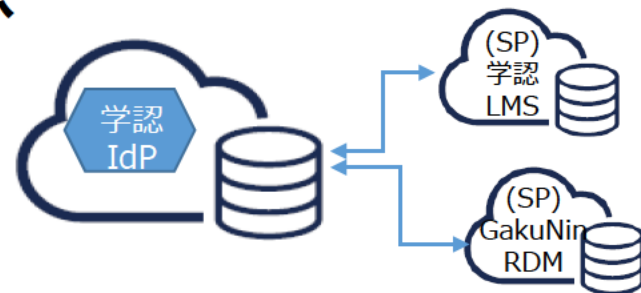
- 次世代学認では、全ての人々が認証できるようにしたい、認証レベルを上げたい
- もっと多くの機関に学認参加していただきたい

**➡ 学認参加の際の障壁を下げるため、障壁の一つであると考えられるIdPを、NIIで貸し出すためのサービス (学認対応IdPホスティングサービス) を検討開始**

学術情報基盤オープンフォーラム2022 認証トラック3 にて課題提起後、ご意見くださいました皆様、ありがとうございました。

# 学認対応IdPホスティングサービス実証実験

- 実証実験の目的：提供サービスの内容と参加機関における課題の分析を行う
- 実証実験の内容：
  - 対象機関は、学認への参加を予定または検討中であり、IdPの構築、運用に課題がある機関、または、既に学認に参加しIDaaSへの移行を検討している機関、約10機関
  - **学認対応のIdPサーバをクラウドサービス（IDaaS）として提供**
  - 実証実験の期間は、2023年3月～2024年4月の約1年間
  - 単なるIDaaSとして提供するだけでなく、**各種支援も提供**
    - ✓ 学認への参加手続きに関する支援
    - ✓ IdPホスティングサービスへの初回アカウント登録支援（2回目以降は機関側で対応）
    - ✓ IdPホスティングサービスの設定操作の支援
    - ✓ 学認に関するメタデータの登録支援
    - ✓ SP接続時の設定支援（5つまで。6SP以降は機関側にて対応）
    - ✓ 学認参加IdP運用状況調査の一部回答サポート など
- 募集の流れ：
  - 2023年1月 協力いただける機関（実証実験参加機関）の募集
    - 想定を上回る多くの機関様からご希望、お問合せをいただきまして、誠にありがとうございました。
  - 2023年2月末 参加機関の決定
    - ご希望いただいた全機関にヒアリングを行い、NII側であらかじめ設定していた基準に基づき、選定させていただきました。



参考 <https://www.gakunin.jp/node/687>

# 実証実験参加機関について

- 実証実験参加機関数：10機関（2023年5月時点）

|    |     | アカウント数           |
|----|-----|------------------|
| 1  | S大学 | 1700（教職員＋全学生）    |
| 2  | B大学 | 7500（教職員＋通学課程学生） |
| 3  | H院  | 100（教職員）         |
| 4  | K館  | 100（教職員）         |
| 5  | K所  | 350（研究者＋職員）      |
| 6  | T大学 | 2000（教職員＋全学生）    |
| 7  | A大学 | 1600（教職員＋全学生）    |
| 8  | K大学 | 1000（教員のみ）       |
| 9  | S大学 | 450（教職員のみ）       |
| 10 | K大学 | 6400（教職員＋全学生）    |

## （特徴）

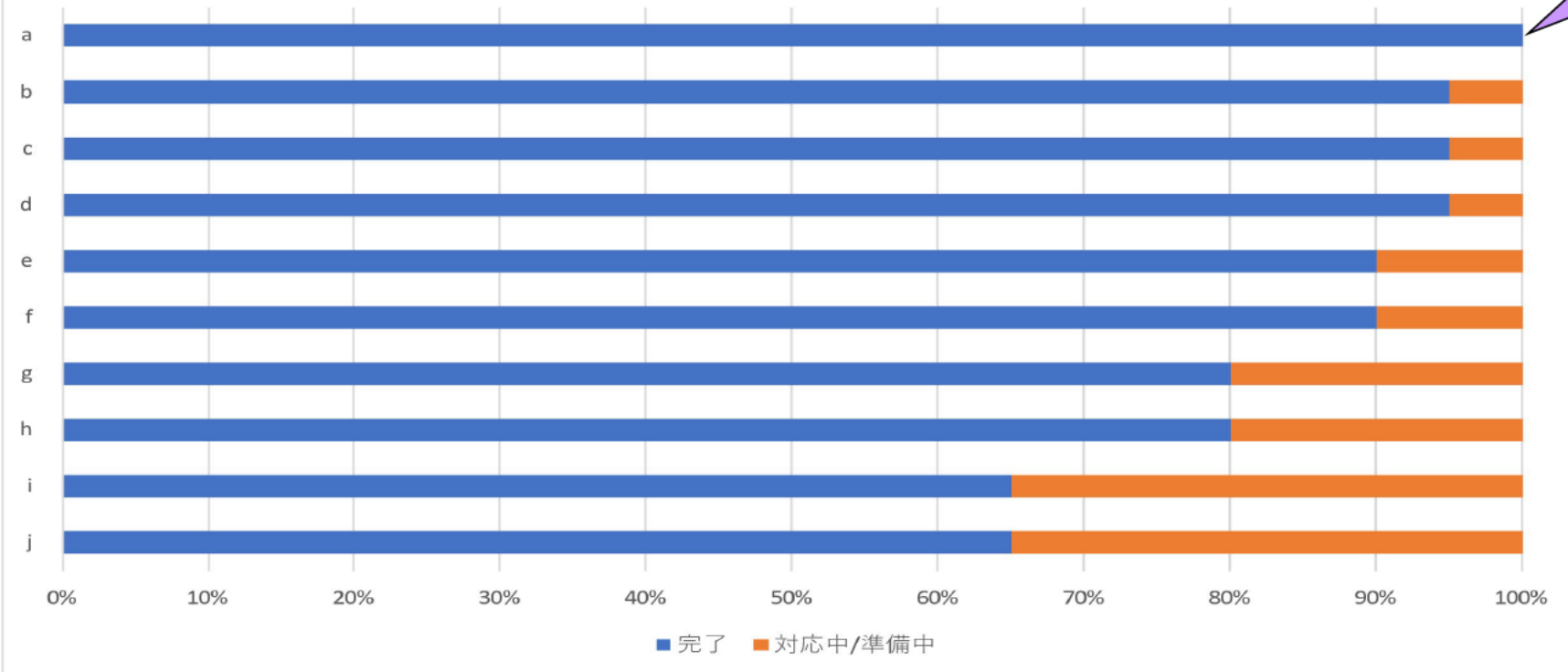
- 既にUPKI を利用していた機関は7機関
- 学認参加済機関は0機関
  - 10機関とも学認未参加
- ID 管理システムを導入していた機関は3機関
  - すべてオンプレで導入
  - 該当の3機関は比較的大規模な組織
- 認証サーバにAzureAD を利用している機関は7機関

# 実証実験参加機関の進捗状況

- ① 設計、ヒアリング済み機関：10機関
- ② 学認参加済み機関：8機関、準備中（UPKI待ち）は2機関
- ③ ユーザ登録済み機関：3機関、対応中は6機関、準備中は1機関
- ④ SP連携済み機関：1機関、対応中は6機関、準備中は3機関

1番にサービス利用を開始された国立保健医療科学院様より、後ほど状況報告いただきます

サービス利用開始に向けた各機関の準備の進捗状況（順不同）



# 感想

- 実証実験参加希望をいただきましたが、残念ながら機関内の体制が整わない等により、ご辞退された機関が数件ありました。
- 実証実験に参加校で、学認参加後に運用をイメージすることが難しい（ユーザに対してどのように利用させるのかなど）機関が数件あります。
- 同じような悩みを抱えてる機関はありますので、
- これまでどう対応すればうまくいったなど、気軽に意見交換できるような、横のつながりができる場を作っていければ、と検討中です。



# 教育研究機関のみなさま、関連業者さまへお願い

- 本件に関するご意見やご提案など、お寄せいただけると幸いです

**gakunin-idp-hosting at nii.ac.jp**

※ atは@に変えて、前後のスペースは省略

※ [件名] 学認対応IdPホスティングサービス

国立情報学研究所 学術基盤推進部学術基盤課  
学術認証推進室 学認対応 IdP ホスティングサービス担当

- 本日は、Slidoからもご意見を承っております

▶ [学認対応IdPホスティングサービス] が分かるようにご記入お願いいたします

